

ボランティアだより

特集

令和2年度 彩の国ボランティア体験プログラム
「ホッと♥アート ボランティア」

第29号
2020.9.1



白いジグソーパズルに
絵や文字をかくて

参加者お互いの作品を
交換して交流しよう

あたたかいまごころを
ジグソーパズルに乗せて
みんなで「ホッと」しよう!

深谷市ボランティアセンターでは、市内の福祉施設や市民の方々と連携し、ご協力いただきながら「彩の国ボランティア体験プログラム」を実施しております。ボランティア活動の最初の一步を踏み出す応援をします!

目次

特集：ホッと♥アート ボランティア

- ・彩の国ボランティア体験プログラム 参加者募集
- ・コロナ禍で光る地域の力
- ・深谷市フードパントリー
- ・災害がおこる前に伝えたい
- ・災害ボランティア募集中

ボランティア・
市民活動サポートセンター
LINE



Hot Art



令和2年度彩の国ボランティア体験プログラム 「ホッと♥アートボランティア」参加者募集！

市内施設利用者と市内参加者が白無地ジグソーパズルに絵や文字をかき、社会福祉協議会を介してお互いの作品を交換することにより、施設利用者と市内参加者の交流を図り、それぞれが施設内または家庭でジグソーパズルを楽しみ、「ホッとする」・「あたたかい」気持ちを感じ受することを目指します。

- 参加対象 市内在住の方
(小学生以上であればどなたでも)

- 社会福祉協議会へ電話で申込みします。
※1人1枚まで

- 期 間
令和2年9月1日(火) から
令和2年9月18日(金) まで
平日：午前8時30分～午後5時

- 電 話
048 - 573 - 6563



1

社会福祉協議会へ白無地ジグソーパズルとメッセージカードを受け取りに来てください。

- 期 間
申込みをしてから
令和2年9月18日(金) まで
平日：午前8時30分～午後5時

- 住 所
深谷市本住町12-8

深谷市ボランティア
交流センター



2

ジグソーパズルを仕上げます。
メッセージカードに記入します。

- テーマ「深谷市に関する事」
・ 絵 (ふっかちゃん、またはその他)
・ 文字 (書、文芸など)

- 油絵、貼り絵、切り絵等不可

- 常識の範囲内の内容

- 絵などをかいた後、パズルピースを
絶対に分解しないでください！！



3

社会福祉協議会へ

- 1 完成したジグソーパズル
- 2 記入したメッセージカード
を提出してください。
提出と引き換えで施設参加者の
ジグソーパズルと交換します。
※交換する作品は選べません。

- 期 限
令和2年10月30日まで厳守

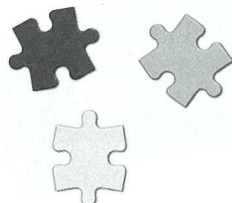
- 提出先
深谷市社会福祉協議会



4

完成！！

※作品例です



注意事項

単位取得等の為のボランティア
活動証明書等の発行は致しません。

コロナ禍で光る地域之力

コロナ禍に関わらず多くのご寄付ありがとうございます。

「深谷市の医療従事者へ雨合羽を送ろう」プロジェクト

～ 社協に声を届けていただいた市民の方にききました ～

令和2年4月20日から同年4月30日までの期間に未開封の雨合羽を募集しました。その結果、深谷市内・埼玉県内だけでなく、東京都、神奈川県、新潟県、大阪府、鹿児島県など200人の方々より、1,204枚の雨合羽をご寄付いただきました。

ご提供いただいた雨合羽は、深谷寄居医師会へ届けさせていただき、必要とする医療現場で活用させていただきました。

このプロジェクト実は…地域のかたの相談を受けた女性が社協職員に相談をし実現されました！

その女性は、「地域の方数人からテレビで大阪府が雨合羽を集めているけれども、それだったら私たちにもできるのに深谷ではやらないのかね」という相談を受け、社会福祉協議会の職員に電話をしてくださいました。そこからこのプロジェクトが始まりました。

今回は未開封の雨合羽のみを募集しており、その女性は、開封した雨合羽しかもっていなかったため寄付が出来なかったと残念そうに話していました。

しかし、その女性が社協に電話をかけていただいたことをきっかけに深谷寄居医師会と連携を図り、医療現場に多くの方の雨合羽と支え合いの気持ちを届けることが出来ました。

地域の中には様々な助けにつながるアイディアや声や気持ちがあふれています。それを声に出して伝えることが出来ない方もいると女性は話しました。その声を拾い上げていただいたことが今回、大きな支援プロジェクトのきっかけになりました。本当にありがとうございました。



あなたの一言が多くの人の支えるきっかけになるかもしれません!!
わたしにも何かできるかもと思ったら社会福祉協議会にご相談ください！

深谷市フードパントリー

令和2年5月18日から同年5月31日までの期間に食料品の募集をさせていただきました。こちらにつきましても、おおよそ60人の方から613点もの食料品のご寄付をいただきました。なかには、ご家族が台車で段ボールにたくさんの食料品を入れてお持ちいただいたこともありました。

新型コロナウイルスの影響で学校等も休校になり、働く事も制限されたなか食料を必要とされる方に対して配布をさせていただきました。

コロナ禍で不安な気持ちも多い時期に「誰かの支えに」と
多くの皆様のお気持ちご協力ありがとうございました



災害がおこる前に伝えたい…

近年、水害をはじめとした災害が毎年のように発生し多くの方や地域が被災をしています。今年に関しても九州や中部地方で川の氾濫や土砂崩れにより被災された方が多くいらっしゃいます。

深谷市には荒川や利根川をはじめとした河川が多くあります。深谷市でも水害などの災害がいつ起きてもおかしくない状況にあります。

コロナ禍で災害が万が一深谷市内で起きてしまった場合や近隣市町村に災害ボランティアとして支援をするための、注意していただきたいことをお伝えします。

ボランティアをする前に確認しよう！

- ◆ 仲間を助けたい気持ちがあっても、活動前日や当日に熱がある場合は活動を辞退してください。
- ◆ 受付前、活動終了後など、手洗い、消毒を徹底していただきます。手洗い、消毒が支援につながります。
- ◆ マスクは新型コロナウイルスだけでなく、災害時に発生している様々な菌を防ぐことにつながります。まさに一石二鳥！
- ◆ 基本的には大声での会話はやめましょう。落下物など危険がある場合は大声で知らせてください。
- ◆ 絆が深まっても、ボランティア同士のハグや握手は控えてください。
- ◆ 帰宅後、2週間以内に新型コロナウイルスへの感染が判明した場合は、災害ボランティアセンターに速やかに連絡してください。
- ◆ 熱い気持ちは必要ですが、熱中症には気を付けましょう。



廃棄するものでも、家族にとっては大切な思い出のつまった物ばかりです。取り扱いには十分配慮しましょう。

被災された方の気持ちやペースにあわせよう／お話をたっぷり聞こう／真剣さと笑顔を繰り返し交えて／自分と休憩はしっかりとろう

出典：全国社会福祉協議会

ボランティア活動保険加入のお願い

※被災地の負担を少しでも軽減させるため、原則として在住地（又は出発地）等の社会福祉協議会での加入をお願いします（これによって、出発地からの補償が担保されます）。加入の手続きについては、お近くの社会福祉協議会へご相談ください。あなたの協力が被災地の負担軽減につながります。

災害ボランティア募集中

いざというときに地域の力になっていただける方、我々こそが被災地の支えになると思われる団体。ぜひ、災害ボランティアにご協力ください。女性の方も高齢の方も活躍しています！

わたしたちは、皆様の熱い気持ちを必要としています。

主な活動内容

- 災害時に備えた災害ボランティア訓練
- 新潟県南魚沼市での雪かきボランティア
- 被災地でのボランティア活動 等々

少しでも、気になりましたら下記事務局へご連絡ください。



深谷市社会福祉協議会
地域福祉係

TEL：048－573－6563

Mail：shakyo@bb.knet.ne.jp